長田高校に創立100周年記念会館

「アストラホール」が完成

卒業生が設計、工費も寄付で

長田高校（長田区池田谷町２）の敷地内に創立１００周年を記念して建設された会館「Ａｓｔｒａ Ｈａｌｌ（アストラホール）」が完成し、17日に落成式が開かれた。真新しい会館内には、１世紀の歴史をたどる写真などが展示され、卒業生ら約50人が学校の新たな門出を祝った。（斉藤絵美）

「Ａｓｔｒａ Ｈａｌｌ」の完成を祝ってテープカットする卒業生ら＝いずれも神戸市長田区池田谷町２

創立100周年を記念して建てられた会館の外観

同校の前身となる旧制神戸三中は１９２０（大正９）年に国の認可を受けて、翌21年に開校した。戦後の学制改革で共学となり、県内有数の進学校として卒業生約３万４千人を輩出。ダイエー創業者の故・中内功氏や映画評論家の故・淀川長治氏らも巣立った。

会館は木造２階建てで、延べ床面積は約３９０平方㍍。１、２階とも仕切りのないスペースとなっており、さまざまな利用法に対応できる。卒業生が設計を担当し、総工費約１億５千万円は卒業生らの寄付などでまかなわれた。

落成式では、創立１００周年記念事業推進協議会の玉田敏郎会長が「部活動、ＰＴＡ活動、神撫（かんなで）会（同窓会）活動などに利用され、世代を超えて絆を生み出す施設になれば」とあいさつ。生徒会長で３年の妹尾洸季さん(17)が在校生を代表し、「これから１００年、２００年と引き継いでいけるよう大切に使っていきます」と宣言した。

会館内には、過去の卒業アルバムから取り出した写真がずらりと並ぶ。戦前の軍事教練の様子から、部活動や課外学習に取り組む生徒の姿などもあり、式典に参加した卒業生らは懐かしそうに眺めていた。

具体的な会館の利用方法については今後決めていくという。

これぞ神戸流

ハーバーランドにトアウエストに栄町通。くたびれた看板の洋食店。そんな神戸の風景が登場する楽曲を作り、全国のライブで披露してきた。コロナ禍で客前での演奏が減

1995年、高校1年生のときに阪神・淡路大震災で長田区にあった自宅が全壊。「好きなものやまちが壊れたのをもう見たくない」と、静岡のギター工場に就職した。

やりたいことはやってしまおう」。友人のバンドに誘われ、25歳で仕事をやめて帰郷。解散後、運試しで電話帳をめくって出た業種から芸名を付けた。ソロ活動で手応えを感じ

く神戸を全国の人に見てほしい」と、北野の異人館や神戸

ニュースふぁいる

中央区

写真を基に人生を描く

神戸芸工大・長沢教授が個展

神戸芸術工科大（西区）の客員教授で、画家の長沢秀之さん(73)＝埼玉県＝の絵画展「対話『私が生まれたとき』神戸　25＋1年あと（未来）の記憶」が17日、中央区小野浜町のデザイン・クリエイティブセンター神戸（ＫＩＩＴＯ）で始まった。

会場には、神戸市内の30人から寄せられた写真を基に、人物や風景を淡い筆致で描いた鉛筆画など約60点を展示。阪神や家族の生死れぞれの人生にたどってい

武蔵野美術の名誉教授んは、創作の島・奄美大島た画集を2版。神戸に奄いことや神戸ら、神戸をテ作を企画した

題材とした芸術家、会社

発

春の全国交通～15日）に合社にちなみ、記したお守り新型コロナウ